

# ウトナイ湖通信



No.252

## 2025年5月号

生きものたちの息吹が感じられる5月のウトナイ湖。センダイムシクイやアオジなど夏鳥のさえずりが聞こえ、マイヅルソウやキジムシロなどの花々が足元を彩ります。ぜひゆっくり散策してみてください。

ウトナイ湖は、周囲約9km、面積約275ha、平均水深約0.6mの淡水湖です。鳥類はこれまでに約270種が確認され、ガン・カモ・ハクチョウなどの渡り鳥にとって重要な中継地、越冬地となっています。

## 5月のイベント情報

### 春の渡り鳥 DAY 5/6(火)開催

【ボランティアミニガイド】10:00～16:00

当センターのボランティアが、20分程自然観察路を歩きながらウトナイ湖の春の自然をご案内します。  
※希望される方が多い場合は時間を指定し、班を分けさせていただきます。

- 定員:各回7名程度(小学生以下保護者同伴)
- 申込:道の駅設置受付に直接申込。随時受付。

【ネイチャーフォトラリー】9:30～16:30

春のウトナイ湖をご自身で散策し、お手持ちのスマートフォンなどで、お題の写真を撮影していただく当日参加型のイベントです。参加賞もご用意しています!

- 申込:不要。

## お気軽ガイドウォーク in ウトナイ湖

5月11日(日)10:30～11:30

レンジャーや当センターのボランティアが40分程、屋外でウトナイ湖の自然を案内します。  
※荒天時は館内ガイドウォークに変更します。

- 定員:10名程度
- 対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴)
- 申込:不要。直接当センターへ

## 救護室バックヤードツアー

5月31日(土)11:00～11:40

普段一般公開をしていない傷病救護のバックヤードを当センターの獣医師がご案内します。 ●定員:10名 ●対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴) ●申込:事前申込制。5/1(木)～5/30(金)の9:00～17:00まで電話で当センターへ。

## レンジャーと一緒に春の生きもの探し

① 5月24日(土)10:30～12:00

② 5月25日(日)10:30～12:00

ウトナイ湖オリジナルの春の生き物図鑑を持って、レンジャーと一緒に生き物を探しに行きましょう。どんな生きものを見つけられるでしょうか。

- 定員:先着20名 ●対象:どなたでも(小学生以下保護者同伴) ●申込:事前申込制。5/1(木)～それぞれ前日の9:00～17:00まで電話で当センターへ。



## 市民ギャラリー

「写真展 第21回 野鳥展」 展示期間:2025年4月25日(金)～5月16日(金) 展示者:笠水上 徹明 氏

「第7回 奥山博美点描画展」 展示期間:2025年5月17日(土)～6月15日(日) 展示者:奥山 博美 氏

◆ウトナイ湖野生鳥獣保護センター◆ TEL.0144-58-2231

〒059-1365 苫小牧市植苗 156-26 / 道の駅となり

開館時間:午前9時～午後5時 / 入館無料

ウトナイ湖野生鳥獣保護センター

検索

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)及び年末年始

ラムートくん



～ウトナイ湖～

・国指定鳥獣保護区特別保護地区  
・ラムサール条約湿地  
・東アジア・オーストラリア地域  
・フライングウェイ・パートナーシップ



当センターでは、国指定ウトナイ湖鳥獣保護区とその周辺(苫小牧市行政区域内)において人為的な原因で保護された傷病鳥獣の救護・リハビリを行っています。その活動の一端をご紹介します。

## カンムリカイツブリ

体重 580 g



搬入直後の様子



足ひれの先端を負傷

足ひれを診察中

### 原因：陸地への不時着か

3月5日

11:30



15:00

リリース

市内でカラスに襲われていたところを市民に発見、保護され、当センターへ搬入。

診察では、カラスにつつかれたであろう擦過創が左翼に確認されたが、軽傷で消毒のみ行なった。足のひれの先端等にも複数の傷を確認したが、いずれも軽傷。

歩行等にも異常を認めず、魚を強制給餌し、経過観察した後、同日中にリリースした。

カンムリカイツブリ (カイツブリ目 カイツブリ科)

全長 56 cm。雌雄同色。日本産カイツブリ類の中では最大の大きさです。頸が長く、くちばしも長く尖っているのが特徴です。本個体は冬羽で、飾り羽はなく、顔が白く、くちばしはピンク色をしています。

## トピックス



ボランティアフォローアップ研修  
イベントに向けガイド研修

5月6日の渡り鳥 DAY で行なう「ボランティアミニガイド」に向け、紹介する自然の選定と紹介内容を決め、参加者役に案内を実践しました。新緑の美しい春の自然をボランティアの案内とともに楽しみませんか？



ウトナイ湖ガン類個体数変動調査

春のウトナイ湖に数万羽飛来するマガンをはじめとしたガン類の調査を今春も4回実施しました。夜が明ける前に湖岸に待機し、湖にねぐらをとるガン類をカウントし、今季の調査では最大19,000羽以上を確認しました。



## ボランティアコーナー

4/5に開催したボランティアフォローアップ研修に参加されたボランティアの たかはし さんにインタビューしました。

ボランティアフォローアップ研修に参加しようと思った理由はなんですか

今回のフォローアップ研修は「5月の春の渡り鳥 DAYで行なうボランティアミニガイドのガイド内容を計画し、実践する」とのことでしたので、自分がガイドをしている中での知識、手法などあまりガイドの経験がないボランティアさんと共有し、イベントのガイドに活かしてもらえればと参加しました。

参加してみた感想を教えてください

ガイド経験が少ないボランティアさんもウトナイ湖周辺の自然にいろいろと興味を示してくれ、ガイドの実践では積極的にガイドをしてくれたので、当日のミニガイドが楽しみになりました。



ガイド経験豊富なベテランボランティアの たかはしさん

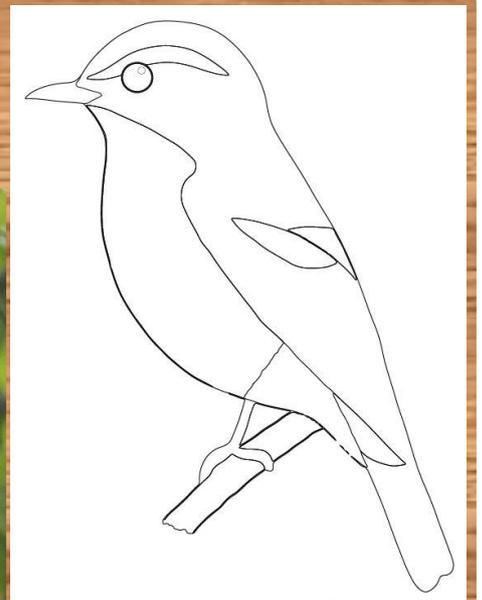
## ウトナイ湖 お楽しみコーナー 【ウトナイ湖・野鳥めぐりえ】

ウトナイ湖に春に渡ってくる夏鳥

### 「キビタキ」

黒と黄色が鮮やかな  
オスの色をぬってみましょう。

ウトナイ湖周辺の林でさえずる声が  
聞こえます。



公式 SNS には、ほかにもたくさん情報を載せています！



Instagram



Facebook



X



# レンジャーのおすすめ自然情報



【クロツグミ】

全長 22cm。写真はオスで、メスは茶褐色。オスは「キョロン、キョロン、チヨコ、チヨコ」とさえずる。



【オオジシギ】

全長 30cm。上空で「ズビヤーク」と鳴きながら旋回し、急降下しながら「ゴゴゴー(羽音)」と音を出してアピールする。



【キビタキ】

全長 14cm。写真はオスで、メスは茶褐色。オスは「ピュリリッ、ホーヒッヒー、ホーヒッヒー、ホー」とさえずる。



【フデリンドウ】

リンドウと名がつくものの、その花は2cmほど。地面に咲くがとても小さい。広場などの日当たりのよい場所に咲く。

繁殖のために渡ってきた「夏鳥」が、メスへのアピールや縄張りの主張のために、盛んにさえずります。オーストラリアから渡来するオオジシギは、鳴き声だけではなく、尾羽を振動させて出す大きな音でアピールをするため、別名「雷シギ」とも呼ばれます。左記の音が上空から聞こえたら、姿を探してみましょう。

この時期、野鳥は繁殖期の真っ最中です。同じ場所や、同じ個体を長時間観察することは控えましょう。



## ウトナイ湖で自然観察を楽しもう♪

最新自然情報や、自然観察路マップはこちらから



Instagram



Facebook



X

### 自然観察路ガイドマップ【春】

